

発行日：2015年1月6日

発行：地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター

新年のご挨拶



平成 27 年の新春、明けましておめでとうございます。皆様方、良き新年をお迎えのことと存じます。常日頃は医療連携にご協力を頂き、御礼申し上げますとともに、本年も宜しく願いいたします。これからの 1 年が皆様方にとって、日本にとって、そして広く世界にとっても平和と繁栄の年になることを心より祈りたいと思います。

当センターは開設して 30 年余りが経過しましたが、当センターを退院した多くの患者さんは、継続的な地域の医療支援が必要であり、そのためには地域の先生方と密接な連携体制を取り、患者さんの成長発達を支援しなければなりません。昨年 8 月には地域医療連携室、在宅医療支援室と総合相談室を統合した患者支援センターをオープンし、職種間の連携を密にすることにより、患者さんの前方支援から後方支援まで、総合的な医療サービスを提供できると考えています。また、昨年 5 月より新手術棟がオープン致しました。今後、地域の重篤小児患者さんに対する医療体制を強化して参ります。

本年もイブニングセミナー、医療連携懇話会、地域医療連携研修会の開催などの広報活動を通して、地域の医療機関の皆様との連携を強化致しますので、今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

(総長 福澤 正洋)



総長 福澤 正洋

新年明けましておめでとうございます。

当センターでは、近隣の医療機関や先生方との連携を強化し、患者サービスを向上させるため、昨年 8 月 4 日付で患者支援センターを立ち上げました。それまでの患者相談窓口には、地域医療連携室、医療相談室、在宅医療支援室など 4 つもの窓口がありましたが、これらを有機的に結びつけ、患者支援体制を強化することが大きな目的です。

当センターは周産期部門の開設から 33 年、小児部門の開設から 23 年たち、成人期に達した患者さんのトランジションは大きな課題です。外来患者の 6% 以上、入院患者の 3% 以上が 20 歳以上です。この中には他施設で受け入れていただくことが難しい患者さんもいます。しかし、当センターは高度急性期病院として機能しなければなりません。

病院長 倉智 博久

近隣の医療機関で後方支援にご協力をお願いできれば幸いです。

昨年 10 月からは PICU 病床数を 8 床から 10 床に増床し、重篤な小児の救急医療にもお応えできる体制が整いつつあります。急性期治療終了後は、逆搬送にお応えいただければと思います。

新年を迎え、新たな決意で患者支援センターを充実・発展させ、地域医療連携を強化し、地域医療に貢献することが当センターの重要な使命です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(病院長 倉智 博久)

基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します。

基本方針

- 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します。
- 患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います。
- 地域の保健医療機関と連携して、母子保健医療を推進します。
- 母子に関する疾病の原因解明や、先進医療の開発研究を進めます。

整形外科

子どもの数が減少している現在、小児整形外科を診ることの出来る医師の数が非常に少なくなっています。当センターの整形外科では、子どもたちのすべての運動器疾患を周産期から成長終了に至るまで、リハビリテーション科とともに一貫して治療にあたっています。さらに小児整形外科の高度な専門知識と医療技術の提供ばかりでなく、一般の整形外科医が最低限必要とされる小児に関する知識を広く教育していく卒後教育機関としての役割も果たしています。

小児整形外科では、成人の整形外科と異なる多岐にわたる知識と経験が要求されます。この点で一般診察自体が専門外来と言うこともできますが、特に手足の先天異常（多指症、合指症、裂手、橈側列欠損、腓骨列欠損、脛骨列欠損など）、分娩麻痺、変形や脚長差に対する骨延長を得意分野としています。また、先天性内反足などの下肢変形、先天性股関節脱臼・大腿骨頭すべり症・ペルテス病などの股関節疾患、小人症・骨系統疾患も専門的に診ています。

2013年の初診患者数は803名、再診患者数は8355名でした。手術件数は344件で、そのうち181件が四肢の先天異常症例でした。

（整形外科 主任部長 川端秀彦）



整形外科スタッフ

泌尿器科

当科では、小児の腎・尿路系疾患ならびに生殖器系疾患に対して幅広い活動を行っています。

腎・尿路系の代表的なものは、水腎症、多嚢腎（MCDK）、巨大尿管、膀胱尿管逆流、尿管瘤、後部尿道弁などの先天性疾病で、出生前に胎児超音波検査でみつける症例も少なくありません。産科、新生児科と協力して出生前のお子さんに対しても積極的に診療に取り組み、豊富な経験をもとに知識の提供や治療方針の選択に関するアドバイスを行っています。

生殖器系疾患の主なものは、停留精巣や尿道下裂などで、乳児期より多くの手術を行っています。陰嚢水腫や包茎といった自然治癒が大いに期待できる疾患に関してはむやみに手術を勧めず、適応を慎重に判断しています。また、性分化疾患（DSD）に対しては、出生時よりご両親のカウンセリングを含めた本邦では数少ないチーム医療を推進し、細やかな対応に努めています。

現在、常勤医3名、レジデント1名に加え、島田前部長の現役時代と変わらぬ活躍のもと、年間約450件の手術を行っています。初診患者数も2013年は677名で、増加記録を更新中です。

（泌尿器科 部長代行 松本富美）



泌尿器科スタッフ

PICU ホットライン 開設

2015 年 1 月に PICU ホットラインを開設します !!!

当センターでは、**PICU 管理が必要な重篤小児患者さん**を可能な限り受け入れさせていただきます。以下のホットラインにお電話ください。

なお、紹介いただいた患者さんの症状が安定しましたら、原則として逆紹介をお願いしておりますので、どうぞ協力くださいますようお願いいたします。



0725-56-1070

※集中治療室にて 24 時間対応します。



地域連携懇話会のご報告

地域医療連携室では“顔の見える連携”をキーワードに地域の医療機関との連携に取り組んでいます。その取り組みの1つとして、年2回「地域連携懇話会」を開催しております。母子医療センターと連携する関係機関の方をお招きし、当センターへの要望・意見をうかがい、当センターの課題を明らかにし、改善につなげることを目的としています。

第5回の地域連携懇話会（2014年11月20日開催）は、教育と医療のより良い連携をテーマに大阪府立羽曳野支援学校と大阪府立岸和田支援学校より講師の方をお招きしました。

講演の中で、学校と病院間での患者さんを軸にした情報共有の必要性について、ご指摘をいただき、改善に向けて院内調整や新たな取り組みを検討しています。

地域における双方向の連携を進めていこうとしている私どもにとって、大きな励みと貴重な教訓になりました。



ニュース

今月のベスト ドクターに
当センター 整形外科
主任部長 川端秀彦先生
が選ばれました。



Best Doctors とは

医師同士が相互評価する調査として、継続的に行われている医療界最大級のもので、各医師に「もし自身や大切な人が、自らの分野・関連分野の治療を必要とする際、自分以外の誰に治療を委ねるか」を尋ねる形で進められます。（ベストドクターズ社ホームページより）



研修会のご案内

日 時

2015 年 3 月 14 日 (土)
午後 2 時 ~ 5 時

場 所

難波御堂筋ホール 8 階 (B)

第 2 回小児がん拠点病院 診療放射線技師研修会

テーマ 小児脳腫瘍 (仮)

※放射線技師対象 <事前参加申込み: 必要 (定員 70 名)>

お問い合わせ先: 大阪府立母子保健総合医療センター 放射線科

TEL 0725-56-1220 内線 2180

担当: 中西または西尾



初診予約までの待ち日数短縮への取り組み

一部の診療科におきまして、初診までに長期間お待ちいただくことになり、申し訳ありません。

対策として、一部の診療科におきまして初診枠を増設いたしました。

なお、緊急性の高い疾患につきましては**必ず**対応させていただきますので、その旨、患者支援センター・地域医療連携室にお伝えください。

イブニングセミナーのお知らせ

2015 年のイブニングセミナーは以下のとおり開催いたします。今年度はチーム医療として取り組んでいることをテーマにおこないます。事前申し込みは不要です。どうぞお気軽にご参加ください。

時間: 午後 5 時 30 分 ~ 6 時 30 分

場所: 大阪府立母子保健総合医療センター内 (下記参照)

日 程	場 所	テーマ (仮題)	担当部署	講演者
2015 年 1 月 8 日	研究所 大会議室	子どもと妊婦へのお薬アレコレ	薬局	石川 照久
2015 年 2 月 5 日	研究所 大会議室	小児の緩和ケア	緩和ケアチーム	澤田 明久
2015 年 3 月 5 日	研究所 大会議室	子どもと妊婦の感染と予防	ICT	望月 成隆

※テーマ、講演者につきましては各セミナー開催の 1 か月前に確定し、ホームページにてお知らせいたします。

交通のご案内



診 察 時 間 : 平日 午前 9 時 ~ 午後 5 時

予約受付時間 : 平日 午前 9 時 ~ 午後 7 時

初診予約 FAX : 0725-56-5605 (24 時間受付)

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター
患者支援センター 地域医療連携室

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

TEL : 0725-56-9890 (直通) ・ 0725-56-1220 (代表)

FAX : 0725-56-7785 ・ 0725-56-5605 (初診受付専用)

<http://www.mch.pref.osaka.jp>

この広報誌に関するご意見・ご要望は FAX にて患者支援センターにお寄せください。